

旭ヶ丘児童センター 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業 事業区分「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R1年 度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳児 ・エンジェルクラブ ・星エンジェルクラブ	月2回	10			25	274	0	0	266	540	24	199	0	0	218	417	母子推進員の協力で、引きこもりがちな親子を紹介していただき、外に出るきっかけを作る事が出来た。同じ町内の親子との繋がりが出来母親に笑顔が見られるようになった。0歳児は、育児のおもしろい話せる母親同士の繋がりがとても大切なため、友達作りが出来るように支援をした。
		② 乳幼児クラブ 1歳児 ・ひよこクラブ	月2回	10	15	13	16	222	0	0	187	409	16	162	0	0	146	308	昨年度のアンケートに「段ボール遊び」、「感触遊び」がしたいという意見があり、「段ボールハウス作り」、「小麦粉粘土・セリ・泡遊び」等を取り入れた。「やってみたことができて楽しかった」「子どものペース」で進んでいく内容が良かった」と好評だった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳児 ・キンダークラブ ・ちびっこクラブ	月2回ずつ	10			32	507	0	0	389	896	32	333	9	0	277	619	「遠足に行きたい」と言う要望からバスに乗って多治見駅まで行き、公園でお弁当を食べて帰ってくることを実施。初めてバスに乗る体験ができ、保護者からもバスに乗るのは10年ぶりという声が聞こえ、「新鮮で良い経験が友達と一緒に出来た」と高評価だった。健康推進員に協力を依頼した山歩きや、歩いていける公園に出かける活動も多く取り入れ、体力増進に繋がる内容にした。岐阜大学教授が開発した子重トレーニングも取り入れ家でも出来る運動遊びを紹介した。
	小 計							1003	0	0	842	1845	72	694	9	0	641	1344	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・幼児おはなしの会 ・幼児トランポリン ・きつず広場(食育等) ・園児遊ぼう会 ・バランスボールでスタイルアップ ・季節行事(母、父の日、水遊び、敬老の日、クリスマス会等)	月3、4回程度		15	13	59	614	7	11	484	1116	52	429	29	8	409	875	食育は園児親子からの体験だったが、幼児親子も参加できるよう変更した。苗植えから収穫、食まで経験でき、参加者からは「畑体験をしてみたかったので嬉しい。親子で良い経験が出来た」と好評だった。おはなしの会による読み聞かせは、読み聞かせ後に季節に合わせた工作も実施。親子で楽しめる内容にした為、参加者が増加していく傾向がみられた。前年度実施の「ママと遊ぼう」は「きつず広場」と類似していた為、きつず広場へ統一。「リミックで遊ぼう」は3月に予定したが新型コロナの影響により中止。
	小 計							614	7	11	484	1116	52	429	29	8	409	875	

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					実施 回数 R1	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R1年 度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を 対象とし た事業	1	一輪車クラブ	月2～5回	6	15	15	24	21	428	0	15	464	19	0	389	0	11	400	「一輪車クラブ」は、前年度の演技や検定の技を見た子ども達が「やってみたい!」と、30人を超える参加者があった。地域のボランティアの協力により活動。技ができるようになるまで声掛けや見守りをしてもらい、心の大きな支えとなっている様子であった。 「子どもスタッフ」では、子どもが主体的に動けるよう、児童館まつりでのモニュメント作りや保育園訪問の企画等子どもの意見を取り入れて活動を進めた。園訪問では、小道具等も全て手作りした劇を行い、全員が役になりきり園児を楽しませた。優が丘、福祉体験も他団体と連携し色々な経験から成長に繋げられるように実施。 「わくわくキッズ」は、土岐川観察館と連携しバードウォッチングや虎溪山探検等アウトアの活動内容を充実させた。活動時には天然記念物等も見られ貴重な体験が出来た。活動は、保護者の協力を得つつ家族で楽しめる事業とした。 一輪車クラブと子どもスタッフは3月に行う児童館まつりの練習や準備を土日だけでなく平日にも行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により3月のイベントが中止となった為、回数が減少。
		子どもスタッフクラブ	月2回				26	0	297	1	2	300	17	0	233	3	1	237	
		わくわくキッズ	月1回				10	0	237	0	16	253	10	10	179	2	25	216	
		② ボランティア活動	月2、3回				24	5	93	9	10	117	32	18	185	17	27	247	
		小 計						5	93	9	10	1134	78	28	986	22	64	1100	
	2	③ 児童自主事業 ・チャレンジ番付(毎月) ・小学生おはなしの会(毎月) ・かんたん工作(毎月) ・夢のプロジェクト ・食育事業「クッキング」 ・体力測定 ・子ども相談日 ・ドッジボール大会 ・ムシキング王決定戦 ・裁判所、検察庁見学 ・7館合同子どもスタッフ交流会 ・季節行事(母・父・敬老のプレゼントづくり、デイキャンプ、夏の工作、科学工作、クリスマス会、百人一首大会、雑巾を作ろう)	月5回程度		15	15	84	84	807	70	130	1091	109	120	783	71	194	1168	改正児童館がドラインに合わせ子ども達が企画から運営実施できるようサポートして行う「夢のプロジェクト」を実施。夏休みに企画を進める児童を募集し。話し合いにより乳幼児親子を対象としたクリスマス会を行うこととした。実施にあたり「自分達が考えた行事を宣伝したい」と、保育園、幼稚園に手作りのチラシを持ち込み配布の依頼を自らが行った。ポスターも手作りし地域の施設へ掲示依頼をした。行事の二週間前から時間がある時には、毛糸の作ったクリスマスツリー用の飾りのプレゼント等毎日のように準備をし、何度もリハールする姿が見られた。当日は大勢の参加があり、始めから終わりまで無事に終えた子ども達の姿に会場から大きな拍手が起きた。子ども達は達成感で充実に満ちあふれ、大きく成長させるきっかけとなった。 食育事業では栽培した野菜をその場で調理したり、サツマイモはしばらく寝かせた方が甘みが増すことを教えてもらおう等、ボランティアの方に聞きながら楽しめるよう工夫した。 裁判所の見学は前年度好評であったため、本土児童館と合同で開催。保護者の関心も高く親子で参加できる企画として実施。
小 計						84	807	70	130	1091	109	120	783	71	194	1168			

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30年度	R1年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・ザ・感謝祭 ・やよいまつり(中止)	年2回	1			2	66	190	63	116	435	1	53	96	44	95	288	「感謝祭」は、進行を子どもスタッフ、オープニングを北陵中学校の吹奏楽部、遊びコーナーは、子どもスタッフと中学生が準備から一致団結し、母親クラブ、運営委員の協力の下、子どもが主役の事業となった。お世話になっている地域の方を招待し、子どもの手作りの感謝状を贈り感謝の心を持つ事も狙いに入れて実施。午後からの時間設定にしたこともあり大勢の来場者があった。 新型コロナの影響により「やよいまつり」は中止。
		② 移動児童館 ・35区夏祭り ・旭ヶ丘公民館まつり ・北栄小学校PTA行事楽しみな祭 ・子どもの文化祭 ・35区どんどこ焼き ・子ども会連携事業	8月、10月、11月、1月		15	15	6	125	358	22	241	746	6	145	464	23	346	978	どの回もその場で作って遊べる「折り紙紙相撲」や「簡単紙コップを使った化学工作飛行機」のような児童センターコーナーがとても人気であり、前年度より参加者が230人増加。遊びコーナーは「楽しい！」と待ち望まれており、継続して行うことの力を感じた。
	小 計							191	548	85	357	1181	7	198	560	67	441	1266	
	2	③ 地域多世代間交流事業 ・地区社協との共催事業 「お花見会」「お月見会」 「出張児童館」 ・食育事業 ・壁面飾り ・季節行事 「地域協力ハロウィン」 「豆まき会」 ・ファミリー事業 「なりきり消防隊」 ・大人ボランティア ・うながっぱうちわ配布 ・小泉交流センター壁面作り ・くらし人権課「集まれ児童館」	月2、3回程度		14	14	46	153	364	44	222	783	39	143	347	44	183	717	地区社協と連携し、乳幼児からお年寄りまで交流し楽しめるお花見会、お月見会を実施。また、前年度非常に好評であった為、地区社協に乳幼児親子と出掛け、お手玉等の伝承遊びを通して交流した。乳幼児と交流すると元気になれるという意見が多く、今後地区社協からの要望に応え、出張児童館の回数を増やして交流する。 「なりきり消防隊」は、北栄分団の協力の下、消防自動車の展示を実施。消防服に着替え参加した小学生は消防車に積んである機材の説明を聞き、実際にホースを持たせてもらい消防士の体験ができた。消防分団が地域を守っている事を知り将来の夢を持つきっかけになった。 3月の春休み期間に地区社協との交流事業として「五平餅作り」を予定したが、新型コロナの影響により中止。
	小 計			1			46	153	364	44	222	783	39	143	347	44	183	717	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・イベント等のボランティア活動	夏休み10月	3	14	14	12	0	5	90	1	96	12	0	16	52	13	81	「夏の児童の事業」「児童館祭り」等でボランティア活動を実施。学校を通し活動を行ったが直接申込みに来る生徒や、当日手伝いに来る意欲溢れる生徒の姿も見られた。 3月のやよいまつりと春休みのイベントが新型コロナの影響により中止となり実施回数が減少。
	小 計						12	0	5	90	1	96	12	0	16	52	13	81	
	2	② 中高生 自主事業 ・パパママプレ体験(母親クラブ共催) ・卓球大会 ・中学生大掃除隊 ・まつりにおける中高生企画の準備	夏休み 冬休み		15	13	12	13	43	54	12	122	3	15	5	26	15	61	パパ、ママプレ体験は、母親クラブと共催して実施。参加した母親から妊娠中や出産時の実体験や双子の母親の出産体験の貴重な話も聞いた。また、子守り体験を行い学生が子守りをしている写真を撮影しフォトフレームに入れプレゼントした。「泣いている赤ちゃんも可愛かった」「泣いているのでどうしていいかわからなかったが、次第に泣き止んで遊んでくれて嬉しかった」等少しの間であったが、母親の体験ができる貴重な経験となった。 3月に行う「やよいまつり」の準備を毎年行っているが、新型コロナの影響により中止となり実施回数が減少。
	小 計						12	13	43	54	12	122	3	15	5	26	15	61	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H30年度	R1年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業	月1回	12			12	7	0	1	11	19	11	2	3	0	9	14	月1回の相談日に見える方もいたが、大半は相談日以外。子どもの発達で気になる事や学校の対応への不安等の相談があった。学校の内容の相談では、学校との情報交換を図り、連絡を取り合い良い方向へ向かうように努力をした。継続して行っていく実用性を感じた。新型コロナの影響により3月の相談日は中止したが、電話相談等は随時対応。
		② 講習 講演 他連携 ・赤い羽根共同募金配分金事業 「どすこい！児童館相撲体験」 ・歳末助け合い募金配分金事業 「ルンルンバルーンショー」 ・青少年まちづくり市民会議共催 「大原川ガサガサ探検」 ・旭ヶ丘保育園連携 「子どもスタッフ保育園訪問」 ・更生女性保護司共催 「押し花の壁掛けづくり」 ・障害者福祉センター連携 「福祉体験」	年6回	2	15	15	5	101	65	1	64	231	6	52	93	7	49	201	社協運営の児童館合同行事は、2年目となる力士との触れ合い行事と風船を沢山使う参加者参加型のショーであったため、幼児から高齢者まで多世代で楽しめる行事となった。 新規事業として障害者福祉センターと連携し福祉体験を実施。身体障がい者の体験ができるよう、車いすに片手を縛り動きを制限した状態で簡単な運動を行った。参加した子ども達は、「思い通りに動かす事ができなかった」「障がいを持つ人の不自由さが分かった」等、障がい者の気持ちを考える事ができる良い体験となった。
		③ 母親クラブ	毎月1回				16	161	25	0	193	379	12	159	25	1	186	371	2年目となった母親クラブは、輪が広がって一般の参加でも母親クラブ主催の行事に参加する方が増えた。同じ子育て世代なので、子育て中の母親の気持ちに寄り添った内容を展開し、地域の子ども達が楽しめる行事を多く実施できた。3月に予定していたやよいまつりでは、オープニングを盛り上げる楽しい企画を準備していたが新型コロナの影響により中止。
	小 計						33	269	90	2	268	629	29	213	121	8	244	586	
	2	④ 子育て自主事業 ・なないろ広場 ・一緒に元気広場	5月から毎月1回 (夏休み除く)		15	13	11	63	15	3	82	163	9	24	0	0	28	52	子育てをする中で育てにくさを感じている母親に対し、少人数で活動できる「なないろ広場」を発達支援センターと共催し引き続き開催。「前年度兄が入っていて、とても良かったため弟も入会した」という方もいた。10月以降には、保育園等の無償化により働き出す母親が増え、2組と減少したが、参加した親子は「子どもが伸び伸びと遊べて、母の悩みも聞いてもらえるため入って良かった」との声があった。令和2年度は市で行われているワナバク教室と連携し子育て支援に努めていきたい。 3月に行う「なないろ広場」と「一緒に元気広場」が新型コロナの影響により中止となり実施回数が減少。
		小 計					11	63	15	3	82	163	9	24	0	0	28	52	